

大分教育事務所訪問 70

大分市立吉野中学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「未来を切り拓き、幸せを実現する力をつける ～皆の幸せの実現～」を達成するために、「確かな学力の定着・向上」と「心育て」を連動させながら、学習活動運営、生徒活動支援、教育環境整備の3グループを中心に組織的に取り組んでいます。注目すべきは、各グループリーダーは主要主任ですが、それぞれにサブリーダーをおき、積極的に新たな事へ挑戦させることで人材育成を図っていることです。特に学力向上では、プロジェクトを立ち上げ「個別の学習計画」を作成し、きめ細やかな指導や生徒の意識を高める取り組みから、課題であった低学力層の底上げに成果をあげています。

今後は、本校が最も大切にしている3心（素直、感謝、思いやり）を育むためには学校として育成を目指す資質・能力（教科横断的な視点に立った 例：言語能力）を明確にはいかがでしょうか。そのことで、学校経営計画表の取組項目においても、どのような力をつけるのかを教職員が常に意識することができ、生徒自身の意識も高まると思えました。また、中位層の底上げにおいては、タブレットなどの個別学習に加え、学び合い等の協同的な学びをより積極的に行ってはいかがでしょうか。

授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂き、併せて細やかな指導案も示して頂きありがとうございました。どの教室の生徒達も学びから逃げずに頑張っていたのは、「3心」を意識した学級経営が行われているからだと感じました。特に、3年生国語は自主的に辞書を取りに行き調べる生徒やタブレットで答え合わせをする姿から個別最適な学びが行われていました。2年生英語はテンポの良い授業に加え、周りに流されずに最後まで音読していた生徒の姿がとても印象的でした。さらに、1年生保健体育は、生徒の聴く姿勢や教師の指導を受け素直に努力する姿に加え、体育館壁に張られたテープや枠から、単元をとおして工夫された授業が行われていることを感じました。

今後は、指導案にある「振り返り」には、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」として記入してみてはいかがでしょうか。そのことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり授業力がより向上すると思えました。



NO.311 2021年9月 大分市立吉野中学校

素直

課題に対して、真摯に取り組む。わからなければ辞書で調べる。集中している教室は、音が消える。



NO.312 2021年9月 大分市立吉野中学校

感謝

周りに流されずに、最後の一人になっても音読ができるのは、静かに待ってくれる友達がいるから。



NO.313 2021年9月 大分市立吉野中学校

おもいやり

パスを投げる時、相手が取りやすいように投げる。相手軸で考えると、どのような投げ方が良いかみえてくる。